

グループホームふれあい

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目） 取り組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	8	
理念に基づく運営	1		理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)	自己評価3項目・外部評価2項目	0	
		1 外部 評価 1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	入居者様への支援について、大切な五つの“わ”の中に地域との輪を理念に掲げており、出来るだけ地域資源を利用したいと考えている。	0	
		2 外部 評価 2	理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	入居者同士の対話やお互いを助け合って、生活していただけるよう、スタッフが間に入り声かけを行なうなど、ケア統一を心がける。	0	
		3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	今まで同様地域の方やご家族の方に行事等に参加していただき、その時の行動や表情などを見ていただくと共に家族会や運営推進会議において日常生活の状況を報告している。	0	
			2 地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)	自己評価3項目・外部評価1項目	1	
		4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近くの店に買い物に出掛けたり出来るだけ外に出て行くように心掛けている。又、見学者があればいつでも受け入れ案内をしたり相談も受け付けている。	0	
		5 外部 評価 3	地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の公民館の清掃に参加したり、夏祭りの行事では地域の子供達と一緒に大蛇山の作成見学や作成の手伝いに参加し交流している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支地域 合との	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	特に決まった取り組みは無いが、独居の方に対する認知症防止になる取り組みが出来ないか思案中である。	1	地域の老人会が無い為、高齢者の方と接する機会が少ないので、ふれあい行事に参加のお誘いを行っている。
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	3	
		7 外部 評価 4	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	スタッフ全員に自己評価に目を通してもらい外部評価については、話の場を設け意義の説明を行なうと共に改善すべき点において、話し合いを行なうようにしている。	1	評価結果について、家族会や運営推進会議の時に報告を行い改善点についても即実行できるように心掛けている。
		8 外部 評価 5	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、外部評価を受けるにあたって報告を行い、評価への取り組み状況についても報告書を送付しています。又、ご家族様おいてはアンケートの協力をお願いしている。	0	
		9 外部 評価 6	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	ふれあい行事には参加を呼びかけ、出席していた。日頃からの運営において疑問点がある場合は、その都度アドバイスを頂いている。又、市町村の研修にも参加し質の向上に努めている。	0	
		10 外部 評価 7	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	権利擁護や成年後見制度について、内部研修を行い、理解を深めている。現在1名の方が後見制度を活用している。地域包括の方から相談も受けるようにしている。	1	制度については、今後の家族会や運営推進会議において、報告する事を予定しています、スタッフ間においては、相談を受けた時には説明が出来るよう、日頃から話の場を設けたいと考えている。
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	支援している中で、日頃から虐待や拘束について話している。暴力だけでなく言葉の虐待や拘束等もある事を伝え、日常の中で注意をしていると共に現場をみた時は、管理者や代表者に報告するようにしている。	1	入所当初は入居者様の不安が軽減できるように、出来るだけ多く面会をしていただけたよう、家族に声かけを行なっている。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで きたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	3	
理念に基づく運営	4 理念を 実践す るため の体制	12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約を行う時は、契約内容を分かりやすく説明している。入所当初は入居者様の様子を家族に報告するよう努めている。	0	
		13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入所者様が気持ちを伝えやすいような雰囲気作りを行い、日頃から話を傾聴するように努めている。又、月1回あんしん介護員により情報を聞き入れたり入居者様の代わりにご家族からも話を聴くように心掛けている。	0	
		14 外部 評価 8	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	日頃から健康状態を観察し変化が見られたときは、担当医へ報告し、必要時には病院受診を行い、ご家族へ連絡している。金銭管理については、家族会の時に出納帳及び残金を確認していたき押印を頂いている。	1	金銭管理については、ご家族が希望された時はいつでも報告できるようにしている。
		15 外部 評価 9	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会の時に意見や不満苦情を聞く時間を設けたり、日常の面会時に話を聞く事ができ、話を聞いた時は、その都度スタッフに伝え改善に取り組んでいる。	1	開業当初は、聞かれることが無かったが、昨年頃から、面会時になんとなく聞く事ができ、良い関係作りが出来ていると思う。
		16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1回運営者を中心に各フロアの主任者が集まり会議を開催している、事業者の状況報告や入居者様の状況報告を行うなど話し合いを設けている。	0	
		17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	その時の状況に合わせ、シフトを変更したり、事務員の方で協力もあり、要望に応じた対応ができている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に 基づく 運営	4 理念 ため の実 践制 す	18 外部 評価 10	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者の皆さんが安心して日常生活を送れるように、人事異動には心掛けております。	1	急に欠員が発生した場合は、同施設内ふれあいヘルパーステーションからの補充を考えています。
		5 人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)			自己評価6項目・外部評価4項目	1
	5 人材 の育 成と 支 援	19 外部 評価 11	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	採用にあたっては性別、年齢の差別は行なっていない。又、資格のない方や経験のない方も採用し人材育成に取り組んでいる、職員の得意とする事をレクリエーションに取り入れてたりしている。	0	
		20 外部 評価 12	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	日頃から研修等に参加しており、知り得た情報は職員で共有している。新しく採用された方においては新人研修を行なっている。	0	
		21 外部 評価 13	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の要望により講師を招いての勉強会を実施したり、市町村で開催される、講習会、研修会の情報を回覧し積極的に出席するように促しております。	0	
		22 外部 評価 14	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修会等で知り合った他事業所の方と意見交換を行っている。その情報を社内ミーティングで報告し、又、他施設への訪問等をイベント等を利用し入所者様と参加させてもらっている。	0	
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	全職員大きな声での挨拶、管理者と職員、職員同士の会話、お互いストレスを溜めないように何でも話し合う事が出来る職場作り。	1	新人職員の歓迎会、会社の創立記念日等々でのコミュニケーション作りなど。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人材 支援の 育成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	各人が意欲的に仕事ができるように、職場の環境作りに努め、各職員にも計画性をもたせ、責任をもった態度で望んでもらう。又、研修会等にも進んで出席出来るように配慮している。	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2(自己 25～34・外部 15～16)				自己評価10項目・外部評価2項目	2	
安心と信頼 に向けた関係作り と支援	1		相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)	自己評価4項目・外部評価1項目	0	
	1	25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	まずは見学に来ていただき、利用申込用紙を準備し現状の把握すると共に利用後は、なじみの関係を継続する等努力を行なっている。	0	
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用されるにあたり、利用者様の意見を中心に、ご家族様の支援に対する意見等も取り入れ介護計画に取り入れる。	0	
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた時には、色んな方向性からの支援を受けられる事を説明し、時には医療との連携においてリハビリ等も受けられるようにしている。	0	
		28	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	以前から利用されていた場所等も出来るだけ継続していけるようにしながら、まずは入居された環境や他者に慣れられる事を目的とした、サービス内容を考えて支援している。	0	
		2		新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)	自己評価6項目・外部評価1項目	2
	係り2 継続 これ な ま ま の 支 援 開 く	29	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	料理を行なう時は一緒に行かないながら、切り方をどのよにすれば良いか等会話を大切にしている。漬物等を漬ける時は、入居者様を中心となって活躍されている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時や家族会において日頃の状況、報告を行い行事等の参加を呼びかけている。又、入居者様、ご家族を中心にスタッフが付添い外食等も行っている。	1	誕生日に外食をしたいと、ご家族から希望され、職員も一緒に出掛けたりしている、今後は外泊も検討中である。
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	面会の時間を制限せず、外出等もご家族の方に合せて、ゆっくりとした時間を過ごせるように支援している。	1	月に一度遠方から面会に来られる息子さんに合せて、夕方から外出され、ご家族の皆さんと外食をされていました。
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	以前から、利用されていた美容室に出掛けたり、お正月を自宅ですごされたり30年前から通っていたお寺参りにつき1回出掛けたりしている。	0	
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	入居者様の訴えを入居者様が傾聴されたり、居間で過ごされている時は、入居者様同士膝かけを掛け合ったり、歩行時は、職員と一緒に手を引かれたりされる場面がよくみられる。	0	
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退去された利用者様のご家族様にも行事等にお誘いしたりして、今迄のご家族同士の付き合いを続けられるような関係作りをしている。	0	
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価17項目・外部評価6項目	2	
1 一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)				自己評価3項目・外部評価1項目	0	
1	35	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者様の人生史を尊重し、これまで同様の暮らしが出来るように努めている。又、困難な場合は本人の表情を読み取り希望に合うように努めている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでほしい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人の聴き取り、家族からの情報をもちより環境の整備も行なっている。	0	
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	残存機能を生かし、出来ることは本人にしていたき、奪ってしまう事は本人の諦めになるために職員は統一した支援に努めている。	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価3項目・外部評価2項目	0		
	2 介護計画の作成と見直し 本人がより良く暮らし続けるための	38 外部評価18	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者様から寄せられる言葉を大切にしながら、ご家族の面会時等に話の場を設け、利用者様本位の介護計画作成を心掛けている。	0	
		39 外部評価19	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	身体面精神面などに変化がある場合はその時々で話し合いの場をもち、対応を考えている、その場合において計画の見直しが必要な時はカンファレンスを行なっている。	0	
		40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日頃の状態や気づきは出来るだけ詳しく個別記録に記入している。又、職員連絡ノートを用いて、その中でケア統一に努めている。	0	
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	0		
	3 多機能を活かした柔軟な支援	41 外部評価20	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	グループホーム職員だけでは、対応が困難な場合は事務職員の対応をお願いして要望に応じられるように心掛けている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい項目	取り組んでいき たい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	2	
		42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	消防署より非常時の訓練を行ったり、民生委員の方や地域の方には行事等に参加していただきながら支援もしている。	0	
		43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	必要に応じてリハビリ等が必要な時等、医療との連携において、訪問リハや通所リハを利用できるような体制を作っている。	0	
		44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に参加していただき、その時に相談やアドバイスを受けている。又、利用者様についても包括の方と連絡をとるなどして、入居につなげていけるように心掛けている。	0	
		45 外部評価 21	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	週に一度往診にきていただき、変化が見られた時には、その都度報告している。時にご家族様の同行にて受診に出かけるなどしている。	1	掛かりつけ医に関しては入居時に詳しく情報を得るようにしている。
		46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	日頃の状態を観察し必要時には専門医を受診し、疑問点などは医師に相談し、認知症の進行を遅らせる支援に努めている。	0	
		47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護職員を中心にほかの職員の情報を元に、健康管理に努めている。又、日中夜間を問わず看護師や医師に連絡が取れるような体制を作っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院された時は、入院中に面会に行き、状態把握を行なうと共に退院後のケアについて、掛かりつけ医やご家族、管理者を含め相談し、支援の継続に努めている。	0	
		49	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化する前に、ご家族様との話しの中で終末期等のあり方についてもしもの場合の相談を受けている。	0	
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	現状においては重度化した場合は、医療機関の利用を促している。	1	今後取り組んで行きたい内容ではあるが、医療の連携に困難を期している状態である。
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	できるだけ環境の変化のないように、心掛け退去する場合は、十分な話し合いを行い、詳しい情報交換を行なうようにしている。	0	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価 3 8 項目・外部評価 1 1 項目	7	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価 3 0 項目・外部評価 9 項目	7	
		(1) 一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価 3 項目・外部評価 2 項目	0		
		52	プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	抑圧にならないような言葉かけや、対応を行い、職員同士で気づいた点を注意しあっている。機関紙等を出す時は、ご家族の許可をいただくようにしている。	0	
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人本意を第一に考え、本人が望む暮らしが出来るように、日頃から一人一人相談しあえるよう心掛けている。	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでほしい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者本意を理解し臨機応変に対応出来るように日頃から職員に伝え支援に努めている。	0	
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55～60・外部 25～26)	自己評価6項目・外部評価2項目	1	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	今まで利用されていた美容室に出掛けたり、外出時には色つきリップをつけたり、マニキュアを塗ってみたい、その場に応じた、おしゃれの支援に努めている。	0	
		56 外部評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	残存機能の活用を考えて、調理準備、食事の片付けも出来ることは、本人にさせていただきようとしている。	0	
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	掛かりつけ医との相談を行い、体調を考え出来るかぎり本人が好むお酒の提供も行なっている。	0	
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄パターンを把握する為に記録を取り、職員は情報の共有に努めている。	0	
		59 外部評価 26	入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は毎日出来るようにしている。本人の希望を聞き入れ、その場で拒否があっても数分後の声掛けで入浴されるなど、その場その場に合せた対応をしている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでほしい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	居間での休息ではソファーに枕、毛布を用意している。自室では、いつでも休めるよう布団の用意をしている。	1	日中も横になれるよう、様子を見ながら声かけを行うようにしている。
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	3	
		61 外部評価27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	本人の力を活かした暮らしに心がけている、本人の希望にそって職員、家族が話し合い、外食や買い物に出掛ける事が出来るようにしている。	0	
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物の時は、支払いまで出来るうちは本人にしている。お金は事業所側が管理しているが自由に買い物に出掛けられるようにな体制作りをしている。	1	3名の利用者様においては仏壇用の生花を定期的に行き物に行かれるよう支援している。
		63 外部評価28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外出の希望があれば、その都度本人と話し合いいつでも出来るようにしている。	0	
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	本人の希望ある場合は、安全性を考え行動している。ご家族様との外出も職員が付添っている。	0	
		65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	遠方に住まう家族からの手紙があり、こちらからも日常の写真を送っている。日頃からの生活状況の報告も行なっている。	1	居間に電話を設置しており、いつまでも使用できるようにしているが、今のところ電話の申し出は無い。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでほしい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	何時でも訪問していただけるように、職員からも来客者に対して話をすることで、気軽に訪問していただいている。	1	知り得た情報において、近所の方やなじみの方には、何時でも面会が出来る事を説明し来設していただけるよう、声掛けを行なうようにしている。	
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価 8項目・外部評価 2項目	2	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	拘束に対する内部研修を行い、全職員に報告を行っている。現在1名の利用者について事故防止の為にベッド柵を使用しているが、その旨ご家族様の了承を得ている。	0		
		68 外部評価 29	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は一切鍵を掛けておらず、夜間は安全性を考え21時に玄関は閉めている。	0		
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	自室にて独りで過ごされている方には、声を掛け状況の把握をしている。又、夜間は2時間おきに巡視し、物音が聞こえるときには安否確認を行っている。	0		
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者が思いある物品は、そのまま置いて利用していただいている。リスクマネジメントを職員が把握する事で防止に努めている。	0		
		71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ヒヤリハットを記録し、その後の対応についても全所員でケアの統一を心掛けている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	消防職員より応急手当の訓練を受けている。又、応急手当の対応マニュアルを備え付けている。	1	応急手当に関しては、今後も定期的に行なうようにしている。
		73 外部評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回避難・消火訓練等を行なっている。避難訓練時には実際に外の避難場所まで行く等実践につなげた訓練を行なっている。	1	地域の方の協力については、なかなか実行まで至らなかったが、来年度には働きかけを行なうようにしている。
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	個々のリスクについては、その都度ミーティング等で話し合い、ご家族に報告を行うようにしている。	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75～81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	1	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	日頃から体調の変化についての記録を行い、必ず申し送りを行なうと共に、必要時には掛かりつけ医への報告を行うようにしている。	0	
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	全職員が把握するのは困難であるが、用法、用量については変更があった時には職員連絡ノートで把握に努めている。	0	
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分摂取量を把握し、水分摂取のよくない方に対しては、好みの飲み物を用意したり、出来るだけ日常生活において身体を動かす工夫や声掛けを行なっている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、口腔ケアの声掛けを行なうようにしている。又、週1回の歯科往診にてブラッシングを受けている。	0		
		79	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士によるメニューに基づき摂取量を把握しており、その日の状態に合せた支援を行っている。又、本年度から水分摂取量のチェックを行い、その方に応じた支援を行っている。	1	お好みの料理がある場合は、ご本人様と相談し、少し多めに提供する場合もある。	
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	冬季においては、毎食後お茶でのうがいを行ったり、食前の手洗、消毒を欠かさず行っている、排泄時の処理については、使い捨て手袋を使用している。	0		
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材はその時に使う分だけを購入し、賞味期限を確認提供している、調理用具は必ず乾燥機に掛けるようにしている。	0		
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)			自己評価 8項目・外部評価 2項目	0	
	2	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)			自己評価 5項目・外部評価 2項目	0	
	2 生活環境づくり その人らしい暮らしを支える	82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	運営者と相談を行なったが、現状では特に工夫はしていない。	0		
		83	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	生花や造花を用いた飾り付けをしたり、その他季節の行事に応じた飾り付けを行なっている。	0		
		外部評価 32					

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居間では、いろいろなソファを用意し、思い思いの場所で過ごせるようにしている。利用者同士の話しかけにおいて、その日の過ごし方が様々である。	0		
		85 外部評価 33	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者ご家族様のお話を聞き、自宅より使い慣れた家具や思い出のある品を継続して使っていただくことで利用者様が安心して暮らせる環境作りをしている。	0		
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	日頃から換気には気を配り、湿度調整はその日の気温や天気に応じて一日を通して、その都度利用者様に尋ねながら調節している。	0		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	0	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居間にかかる際に段差はあるが、職員が付添う事で事故防止に努めている。完全なバリアフリーではないが、利用者には付添い、声掛けにより安全確保に努めている。	0		
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	利用者様の残存能力を理解し、出来る事は促している。混乱し失敗により自尊心の損失による諦めが出ないように、職員は手助けをしている。	0		
		89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	裏庭には野菜を育て、利用者様には収穫を楽しんでいただいたり、天気の良い日は屋上に洗濯物を干す等活用を行なっている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい項目	取り組んでいき たい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	2		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	2		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	3		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	1	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	3	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	3	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。